

# 原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2008年7月5日 No.61

## 歴史的な世界大会成功へ全都道府県、全団体が総力あげて代表派遣運動にとりくもう！

原水爆禁止世界大会まで、あと27日とせまりました。日本原水協は3日、全国担当常任理事会をひらき、目前の世界大会を21世紀に入って最大の代表数で必ず大きく成功させようと「緊急アピール」も発表し、とりくみをつよめています。

「大会パンフ」学習など大いにすすめ、これらの力を地域、職場、学園から、代表派遣の目標達成へと結実させましょう。

## 各地で活発なとりくみひろがる！！

### 50周年平和行進の成功力に - 世界大

#### 会代表派遣へ連動

石川

石川県原水協は、今年の平和行進を50周年にふさわしく全自治体通過を目標にとりくみ、事前に全自治体に出発式参加、または出迎えをお願いしました。その際、署名、ペットボトル募金(被爆者援護・連帯募金)ペナント等を受け取るセレモニーを組み入れました。

初めて行進した町は能登半島の5町。多くの自治体で職員がセレモニーに参加し、町長・副町長、総務課長をふくめ168人の職員が参加しました。この中で原爆症認定署名1231筆、「すみやか」署名735筆、ペットボトル募金14.5万円寄せられました。首長ペナント15本、議長ペナント14本が託され、行進を盛り上げました。今年の行進参加者はのべ1124人、自治体職員を加え約1300人の参加で50周年にふさわしい平和行進となりました。

平和行進直後、行進参加者も含め世界大会にむけた代表派



各地で多彩に平和大行進。写真は四国コース

遣実行委員会を開催、これは2010年のNPT再検討会議へのとりくみも見据えてのもの。当日は20人が出席、今大会の意義を確認し、各団体の参加目標、学習会、報告会などのとりくみを交流。今年の参加目標を昨年を上回る55人と決め、地域原水協の活性化とむすび、代表派遣運動をすすめています。

### 核兵器のない世界にむけ大会成功を -

#### 代表昨年をうわまわる勢いに 鹿児島

鹿児島県原水協は4日現在、今年の世界大会 - 広島目標50人を超過達成する見通しの40人がすでに決まっています。医療生協では労組・理事会一体に、日常的な平和のとりくみをすすめており、今年広島大会には青年を送ろうと運動をつよめています。とくに労組青年部結成の動きと結び、世界大会への参加を促進しており、すでに青年14人が参加を予定。大会パンフの学習も労組や各組織で広がりがだしています。この他にも広島10人、長崎20人の目標を達成しようと、県内の青年の動きがすすみはじめています。医療生協組合から9人、生協労連6人、離島からも3人などと登録が広がっています。県原水協では、これらの他にも労組、団体、地域から目標達成されてくる動きに、貸し切りバスを追加しなければと新たな決意が広がっています。